

行動予定サーバー取扱説明書

(Version 1.00)

行動予定サーバーはNomoad カスタム版を使用して行動予定表を表示するための外部ソフトです。

行動予定サーバーは複数の「行動予定クライアント」から行動予定（名前、行動予定、時刻、備考、名前プレートの色）を受信し、任意のフォルダ（NAS 等）へ 1 個の CSV ファイルとして保存します。

- CSV ファイルとして保存された行動予定は Nomoad カスタム版（バージョン 3.60 以降）で読み込んで表示できます。

目次

行動予定サーバーを使用した運用方法.....	2
行動予定サーバーの使用準備.....	4
使用準備.....	4
行動予定サーバーの起動.....	5
環境設定.....	5
CSV 出力ファイルの設定.....	6
サーバーの設定.....	7
接続ユーザーの追加.....	7
行動予定クライアント側の設定.....	8
画面の説明.....	9
タスクバーアイコンの右クリックメニュー.....	9
行動予定サーバー状態ウインドウ.....	10
設定ウインドウ.....	11

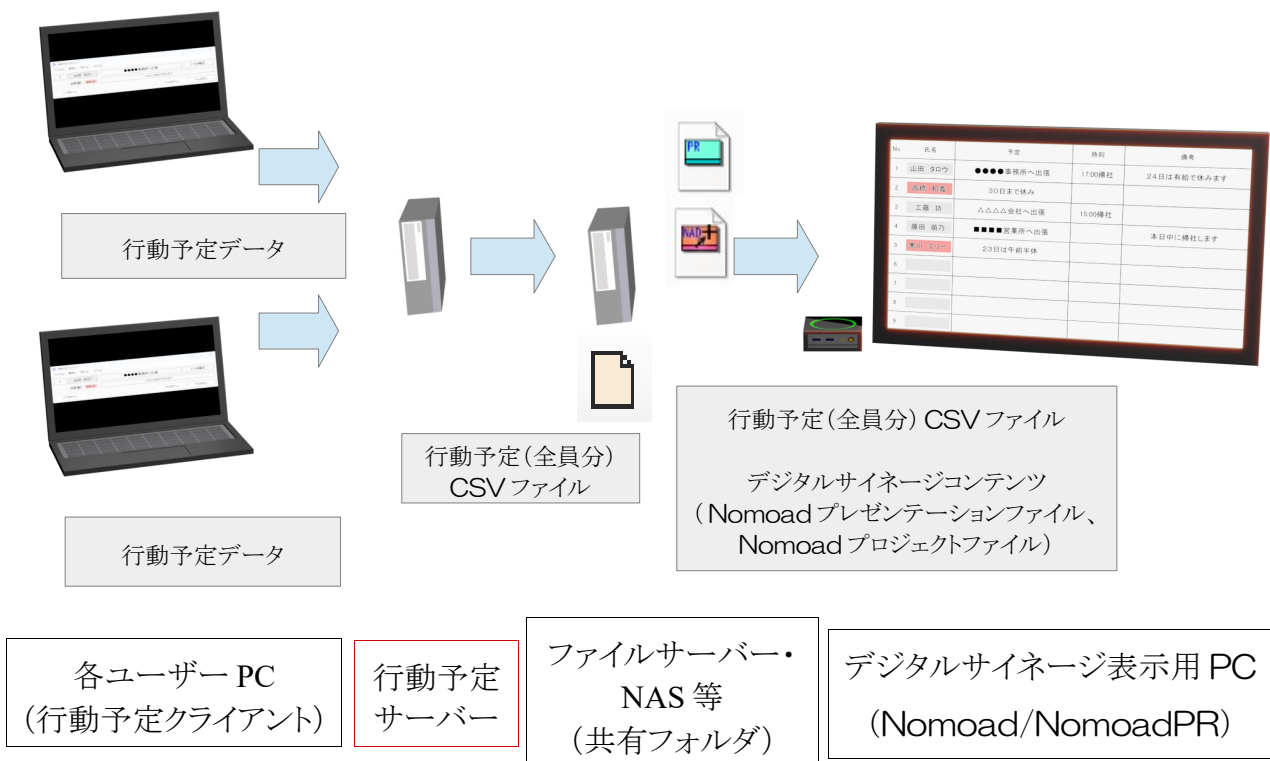
行動予定サーバーを使用した運用方法

各ユーザーは、ユーザーが使用しているPCで「行動予定クライアント」を操作し、行動予定（名前、行動予定、時刻、備考、名前プレートの色）を行動予定サーバーへ送信することにより、離れた場所に設置してあるデジタルサイネージ（Nomoadカスタム版）の画面に行動予定を表示することができます。

行動予定サーバーを使用する場合、「行動予定クライアント」は「サーバー接続モード」に設定する必要があります。「行動予定クライアント側の設定（P8）」を参照してください。

デジタルサイネージの表示コンテンツ（プレゼンテーションファイル）はサーバー接続モード専用で作成されたものを使用します。本ソフトにはサンプルを用意しています。Nomoadカスタム版を使用してすぐに利用できます。準備や使用方法は「行動予定サーバーの使用準備（P4）」を参照してください。

典型的な運用例：



※各機器をそれぞれ用意せず、1つの機器に複数の役割を持たせる運用方法も可能です。

例：行動予定サーバー、ファイルサーバー、NomoadPR を1つのPCで使用する

(参考) 行動予定サーバーが出力する行動予定 CSV ファイルのフォーマット

	1	2	3	4	5	6	7
1	“1” 番号 (ユー ザー番 号)	番号1の 名前	番号1の 白プレ ート (SHOW /HIDE)	番号1の 赤プレ ート (SHOW /HIDE)	番号1の 予定	番号1の 時刻	番号1の 備考
2	“2” 番号 (ユー ザー番 号)	番号2の 名前	番号2の 白プレ ート (SHOW /HIDE)	番号2の 赤プレ ート (SHOW /HIDE)	番号2の 予定	番号2の 時刻	番号2の 備考
3

(番号 200 まで)

行動予定サーバーの使用準備

ここでは「行動予定サーバー」を起動し、サンプルの行動予定表（行動予定サーバー対応）を Nomoad/NomoadPR で表示するための準備を行います。

使用準備

サンプルの行動予定を表示するための準備を行います。

まずは各ソフトを PC へインストールします。

「行動予定サーバー」ソフトを任意の PC（サーバー）へインストールします。

「行動予定クライアント」を使用する各ユーザーの PC へインストールします。

各ソフトのインストール方法はそれぞれの「はじめにお読みください.txt」を参照してください。

また、デジタルサイネージのシステムはあらかじめ構築しておきます。構築は下記の手順で行います。

手順1

サンプルのコンテンツデータのフォルダ「Sample」内にある「行動予定表_横画面 19人+お知らせ_サーバー利用版」フォルダをファイルサーバー・NAS等の任意の共有フォルダへコピーします。

手順2

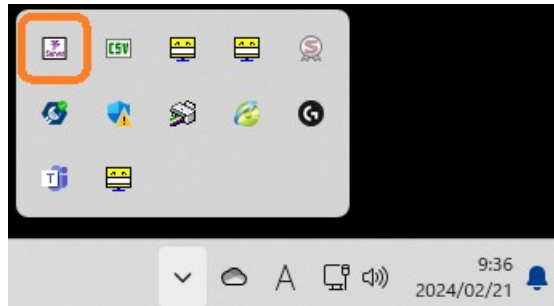
Nomoad カスタム版をデジタルサイネージ表示用 PC へインストールします。ソフトは NOMOSOFT のホームページからダウンロードできます。インストール方法は「はじめにお読みください.txt」を参照してください。

Nomoad カスタム版ダウンロード https://nomo-s.jp/nomoad_dwl.html

行動予定サーバーの起動

「行動予定サーバー」を起動するには、Windows のスタートメニューから「行動予定サーバー」をクリックします。

「行動予定サーバー」が起動し、Windows のタスクトレイに常駐し、常にサーバーとして動作します。

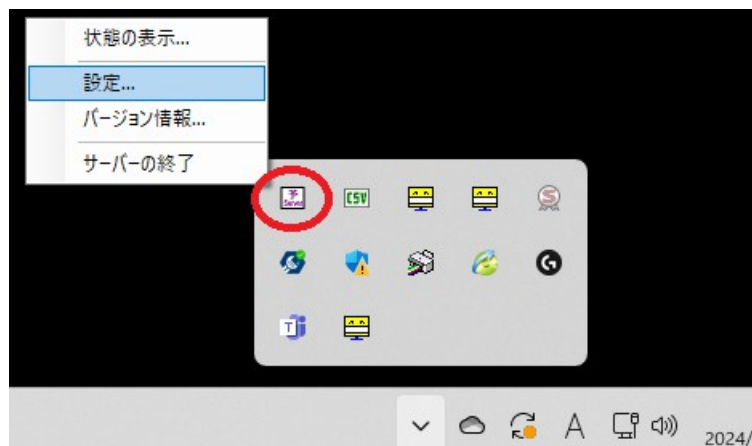


※「設定」ウィンドウで「PC ログオン後、自動的にソフトを起動する」が選択されている場合は、PC へログオン後に自動的に「行動予定サーバー」が起動します。「設定ウィンドウ (P11)」をご覧ください。

環境設定

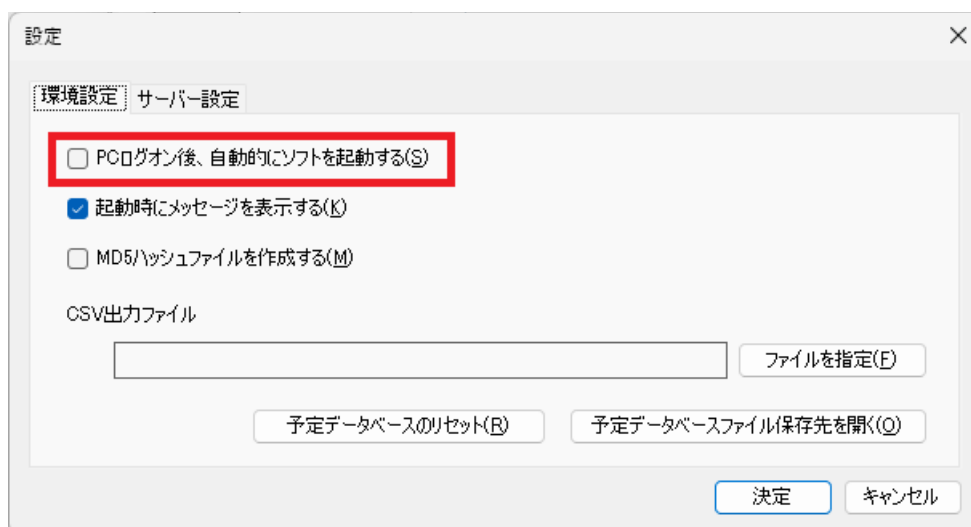
行動予定サーバーの初期設定について説明します。

1. Windows のタスクトレイの「行動予定サーバー」アイコンを右クリックし「設定...」をクリックします。



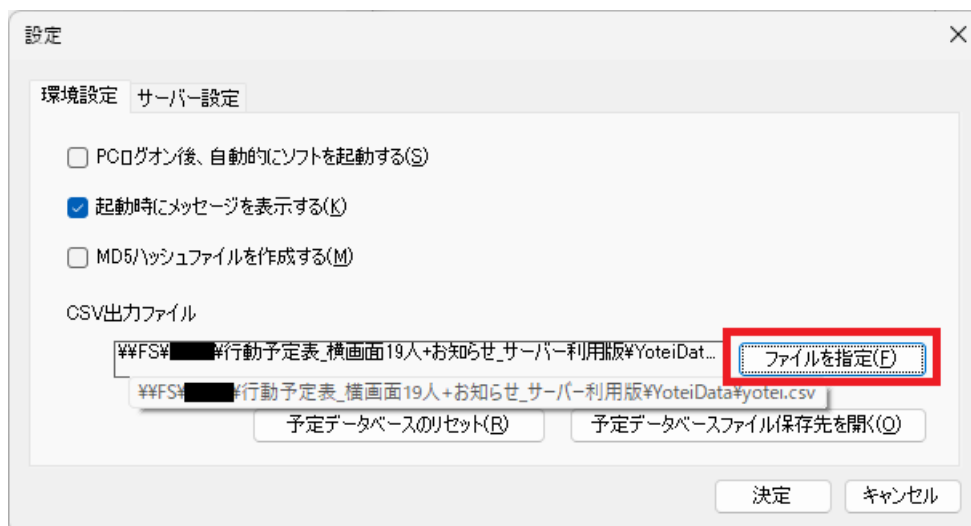
「設定」ウィンドウが表示されます。

2. 環境設定を行います。Windows のログオン時に自動的に行動予定サーバーを起動したい場合は、「環境設定」タブの「PC ログオン時、自動的にソフトを起動する」を選択します。



CSV 出力ファイルの設定

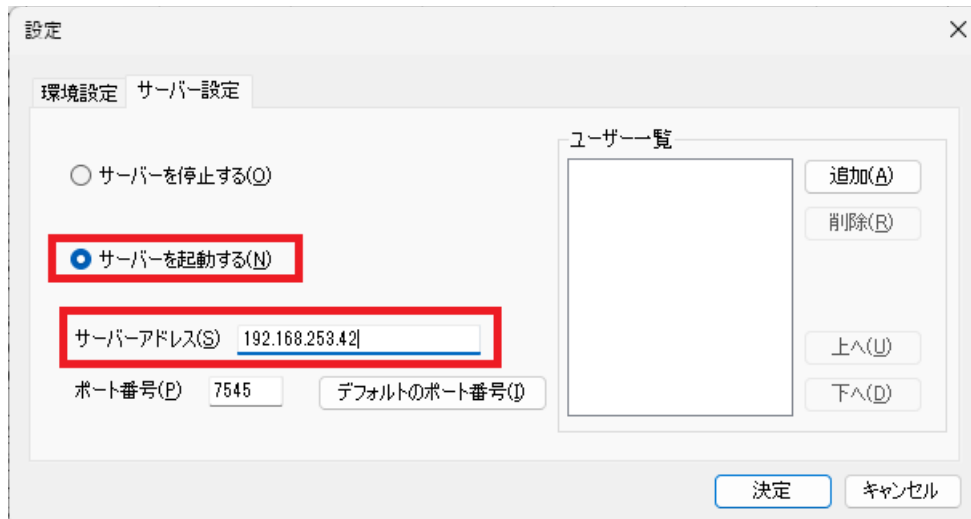
CSV 出力ファイルの設定を行います。設定ウインドウの「環境設定」タブ内の「CSV 出力ファイル」の「ファイルを指定」ボタンをクリックし、使用準備の「手順1 (P4)」でコピーしたフォルダ内の予定データ CSV ファイル（サンプルでは「行動予定表_横画面 19人+お知らせ_サーバー利用版」フォルダ内の「YoteiData」フォルダ内にある yotei.csv）を指定します。



サーバーの設定

サーバーの設定を行います。

設定ウィンドウの「サーバー設定」タブの「サーバーを起動する」を選択し、「サーバーアドレス」を設定します。「サーバーアドレス」はサーバーを実行しているPCのIPアドレスまたはホスト名をセットします。



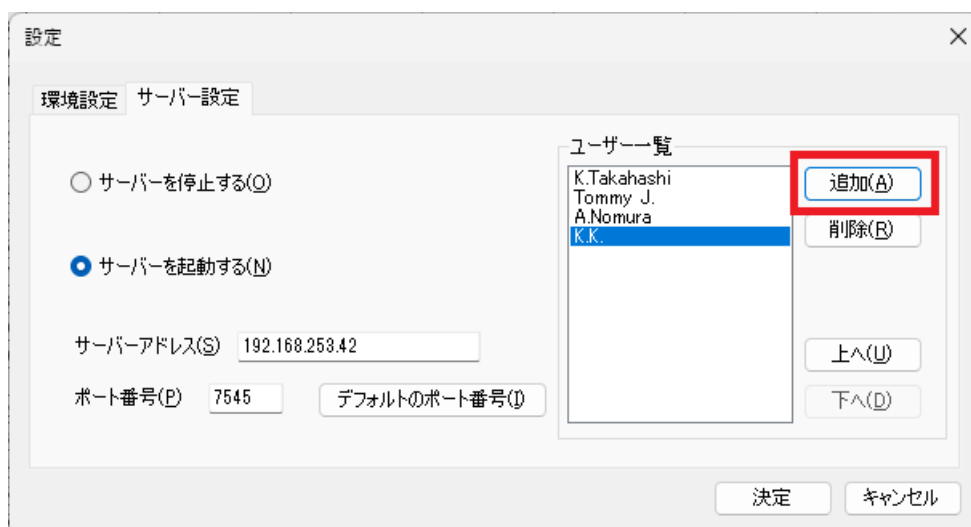
※サーバーを設定した際、ファイアウォールの設定画面が表示される場合があります。行動予定サーバーを使用する場合は、ソフト（ActivityScheduleServer.exe）の通信の許可を設定してください。

接続ユーザーの追加

行動予定サーバーへ接続するユーザーを追加します。

設定ウィンドウの「サーバー設定」タブの「ユーザー一覧」の「追加」ボタンをクリックし、ユーザーを追加します。

ここで設定するユーザー名、パスワードは行動予定クライアントから行動予定サーバーへ接続するための認証に使用されます。



行動予定クライアント側の設定

行動予定サーバーへ接続するユーザーのPC への設定を行います。

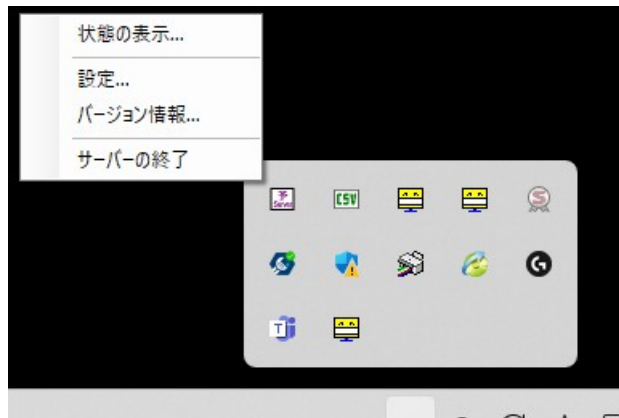
各ユーザーのPCで「行動予定クライアント」を起動し、メニューから「ファイル」→「設定」をクリックし、設定ウィンドウを開きます。

1. 「サーバー接続モード」を選択します。
2. 「サーバーアドレス」を設定します。「サーバーの設定 (P7)」で設定したアドレスをセットします。
3. 「認証情報の設定」ボタンをクリックし、行動予定サーバーへ接続するユーザー名、パスワードを設定します。「接続ユーザーの追加 (P7)」で追加したユーザーの認証情報を設定します。
4. 「デフォルト番号」を設定します。ユーザーに対して割り当てられた番号を「起動時のデフォルト番号」へ設定します。デジタルサイネージの該当番号の行へ予定が割り当てられます。普通、1番が一番上の行へ割り当てられます。

画面の説明

各画面の説明を行います。

タスクバーアイコンの右クリックメニュー

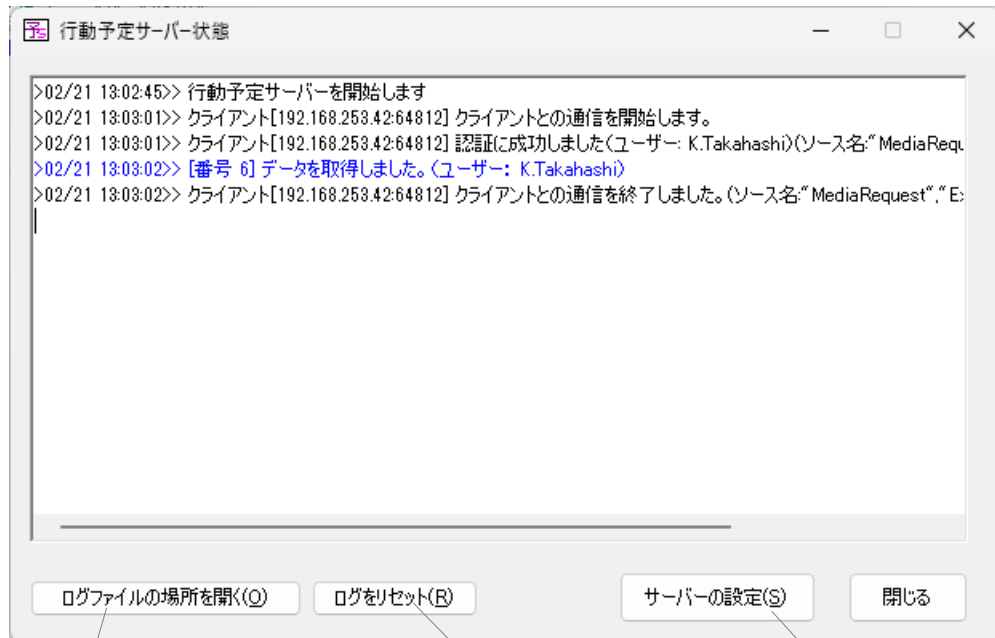


メニュー内容	説明	参照ページ
状態の表示...	「行動予定サーバー状態」ウィンドウを開きます。 サーバーの状態を確認できます。	P10
設定...	「設定」ウィンドウを開きます。	P11
バージョン情報...	バージョン情報を表示します。	-
サーバーの終了	行動予定サーバーを終了します。	-

行動予定サーバー状態ウィンドウ

Windows タスクバーの右クリックメニューの「状態の表示...」を選択すると行動予定サーバー状態ウィンドウが表示されます。

サーバーの状態を確認することができます。



① 「ログファイルの場所を開く」ボタン

② 「ログをリセット」ボタン

③ 「サーバーの設定」ボタン

① 「ログファイルの場所を開く」ボタン

ログファイルの場所（フォルダ）を開きます。フォルダ内には、日付ごとに作成されたログファイルが格納されています。

ログファイルにはユーザーのアクセスログが記録されます。エラー情報などは記録されません。

② 「ログをリセット」ボタン

表示されているログをリセットします。

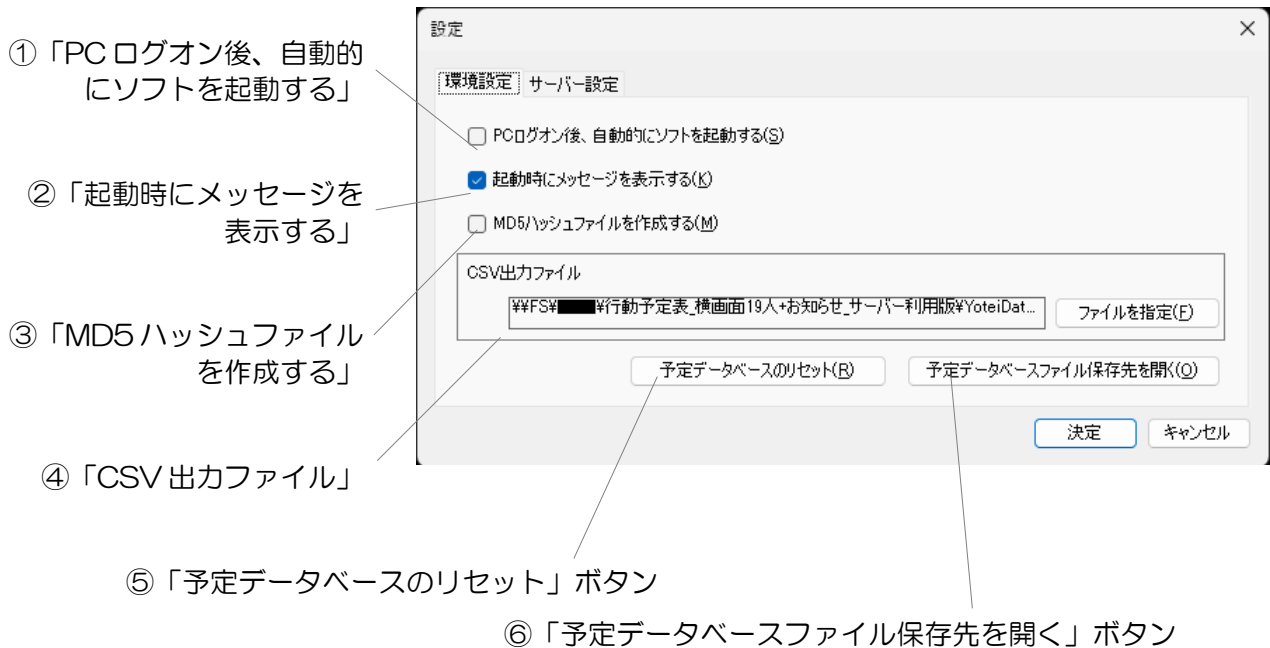
③ 「サーバーの設定」ボタン

「設定」ウィンドウを開きます。P11を参照してください。

設定ウィンドウ

Windows タスクバーの右クリックメニューの「設定...」を選択すると設定ウィンドウが表示されます。各種の設定を行うことができます。

・「環境設定」タブ



① 「PC ログオン後、自動的にソフトを起動する」

PC にログオン後、自動的に「行動予定サーバー」を起動します。

② 「起動時にメッセージを表示する」

行動予定サーバー起動時に確認メッセージを表示します。

③ 「MD5 ハッシュファイルを作成する」

CSV ファイルを保存する際、MD5 ハッシュファイルを同時に作成します。この設定は通常使用しません。

④ 「CSV 出力ファイル」

現在の CSV ファイル出力先です。変更する場合は「ファイルを指定」ボタンをクリックします。

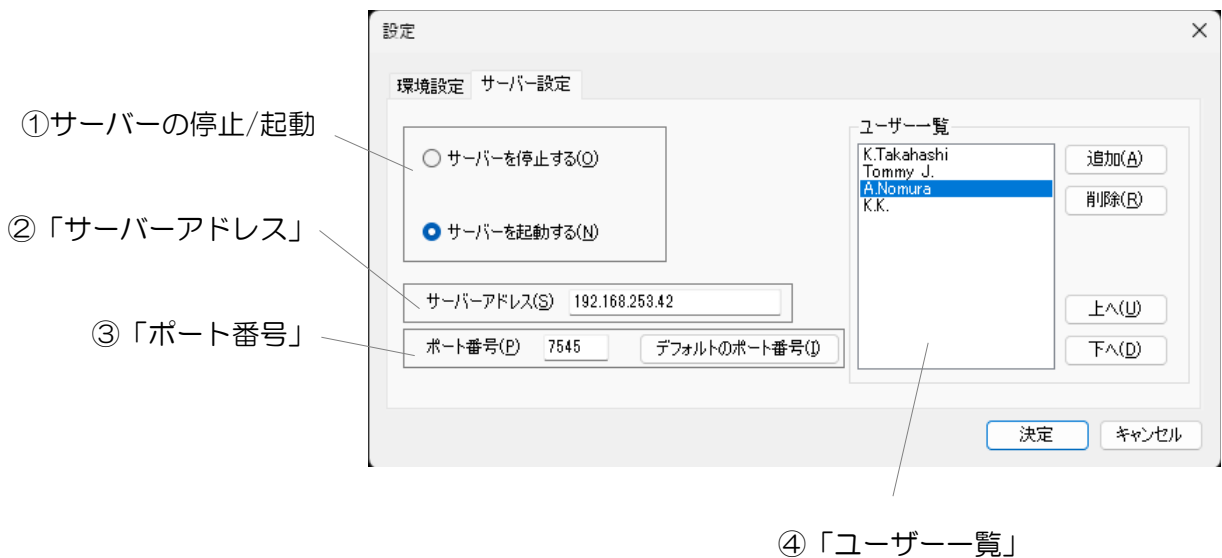
⑤ 「予定データベースのリセット」 ボタン

行動予定サーバーの内部で使用しているデータベースをリセットします。すべてのユーザーの各予定データがすべてリセットされます。

⑥ 「予定データベースファイル保存先を開く」 ボタン

行動予定サーバーの内部で使用しているデータベースの保存先（フォルダ）を開きます。

・ 「サーバー設定」 タブ



①サーバーの停止/起動

行動予定サーバーの停止/起動を選択します。

② 「サーバーアドレス」

「サーバーを起動する」を選択した場合に設定します。ソフトを実行しているPCのIPアドレスまたはホスト名をセットします。

③ 「ポート番号」

「サーバーを起動する」を選択した場合に設定します。行動予定サーバーで使用するポート番号を指定します。「デフォルトのポート番号」をクリックすると、デフォルトのポート番号「7545」が設定されます。

注意 同じサーバーアドレスを使用しているサーバーが複数存在する場合、ポート番号が重複しないようにご注意ください。

④ 「ユーザー一覧」

行動予定クライアントから行動予定サーバーに接続するための認証ユーザー名/パスワードを設定します。

